

報道関係者の皆様へ



雲南市

Press Release

情報提供

令和6年3月13日(水)

担当課 (担当者)	政策企画部 政策推進課 (高木)
電話	0854-40-1011
FAX	0854-40-1029

送付文書 本状及びチラシ3枚

タイトル:3/22(金) 雲南コミュニティキャンパス

まちまるごとインターンシップ<活動報告会>の開催について

ポイント:全国の大学生が、雲南市での暮らしや仕事を市内の各事業所でインターンシップを通じて経験し、取り組んだミッションやその経過について報告を行います。

内容

地方創生の一環として雲南市が取り組む課題解決人材育成事業「雲南コミュニティキャンパス事業」を一般社団法人 umi (所在地:島根県雲南市 代表理事:山下実里)へ委託し、取り組んでいます。今年度この事業で、新たなメニューとなる「まちまるごとインターンシップ」を市内6か所の事業所で実施しています。

この事業は、大学生がインターンを通じて、働くイメージを醸成するだけでなく、市内に滞在し、地域住民との交流や生活体験をすることで、働き暮らすイメージも併せて体験することで人材育成と併せて雲南市の関係人口の創出や雇用の創出につなげることを目的に実施しています。

また、大学生は、このインターンシップ期間(1カ月~1カ月半程度)中にそれぞれの事業所における地域課題におけるミッションに取り組むこととしており、その経過も合わせて活動報告会で報告するものです。

<活動報告会>

日時: 令和6年3月22日(金) 16時00分~18時00分

場所: 雲南市役所 202・203会議室

参加者: 大学生、事業所、一般 約40名

雲南市副市長 吉山治

内容: 参加大学生からのインターンの取り組み結果の報告



本件を取材いただく場合には、感染症対策への配慮をお願いします。

<インターン事業所(6事業所)/受入数(8名)>実施期間:2/19~3/26

社会福祉法人 あおぞら福祉会 1名/株式会社 アルプロン 2名/公益財団法人 うんなんコミュニティ財団 1名/特定非営利活動法人 カタリバ 1名/株式会社 Community Care 2名/株式会社 かみしろ 1名

<参加学生 8名>

関東から3名、島根県内から5名(※うち雲南市出身者2名)



<雲南コミュニティキャンパス事業について>

日本の25年先をいく高齢化社会・若者の流出など課題が山積している雲南市。そんな課題がたくさんある場所だからこそ、様々な地域課題に対し、前向きにチャレンジする人が生まれ、少しずつ成果を生み出しています。子ども×若者×大人×企業チャレンジの連鎖による持続可能なまちづくりを進め、地域全体で社会課題を解決する「ソーシャルチャレンジ」の取り組みをすすめ、安心して暮らし続けられる地域の実現を目指しています。

ソーシャルチャレンジが進む雲南市を大学生の学びのフィールドとし、フィールドワークやインターシッププログラムを通じて、地域課題を解決する課題解決人材を育成するプロジェクト。それが雲南コミュニティキャンパス(U.C.C)です。

<本件に関する問い合わせ>

雲南市 政策企画部政策推進課 担当:高木

TEL:0854-40-1011 FAX:0854-40-1019

Mail:seisakuishin@city.unnan.shimane.jp

一般社団法人 umi 担当:山下

TEL:090-2007-7864

Mail:info@umiumu.com



本件を取材いただく場合には、感染症対策への配慮をお願いします。